

# ちばけん公民館 スタッフニュース



## わがまちじまん!! 七夕のまち茂原

太平洋に近く、温暖で自然いっぱいの茂原市。市内には見どころも多く、日本さくら名所100選にも選ばれた茂原公園の「桜まつり」や、「茂原七夕まつり」など、四季を通してさまざまなイベントや祭礼が目白押しです。

そのなかでも、「茂原七夕まつり」は、毎年7月下旬に市内商店街で開催される夏の風物詩で、関東屈指の七夕まつりとしてにぎわいます。期間中は、毎年80万人ものお客様をお迎えしています。

第62回を迎えた本年は、「LOVE～君と僕の夢物語～」をコンセプトに、7月29日(金)から31日(日)までの三日間開催されました。茂原駅周辺が鮮やかな約800本の竹飾りをはじめとする七夕飾りで埋め尽くされ、その中で、およそ1,000名の踊り手が参加して一糸乱れぬ見事な踊りを披露するもばら阿波おどりや、派手なパフォーマンスで楽しませてくれるYOSAKOI 鳴子おどり、元気いっぱいの子供みこし、各種ステージイベントなど、市内外の多くの方に楽しんでいただきました。

ぜひ一度「茂原七夕まつり」に足を運んでみませんか。来年もまた魅力いっぱいの催しを企画して、皆様のお越しをお待ちしています。



日頃の地域学習活動への貢献が評価されました。

## 佐倉市立中央公民館が 文部科学大臣表彰「優良公民館」を受賞

文部科学省では、全国の公民館のうち、特に事業内容・方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献している公民館を「優良公民館」として、文部科学大臣が表彰しています。

平成27年度、佐倉市立中央公民館が、全国約1万4千の公民館から、「優良公民館」77館の1館として表彰されました。さらに優良公民館の中から特に優れた活動を行った「優秀館」5館にも選ばれました。残念ながら最優秀館の受賞は逃しましたが、ここでは2号に渡り、佐倉市立中央公民館の活動の一端についてご紹介いたします。

### ■佐倉市民カレッジ

佐倉市立中央公民館では、少子高齢社会が進むなかで、シニア世代の方が健康で生きがいをもちながら、地域で活躍していただくために、4年制の市民大学「佐倉市民カレッジ」を開設しています。4年制の概要は、第1・2学年が基礎的な内容の「であい課程」、第3・4学年がより専門的に学んでいく「専攻課程」となっています。入学時の定員は100名で、毎年定員を上回る応募があり、抽選により入学者を決定しています。

第1学年の主な学習内容は、新たな自分や多くの仲間、知らなかった地域とのであいの学習や、健康・生きがい・歴史・福祉・まちづくり・国際化など多様な分野の一般教養です。ウォークラリーでは城下町佐倉の隠れた名所に出会い、世代間交流では小学生と遊びを通して交流を図り、その他にも討議・発表、校外学習、文化、スポーツなど多岐にわたります。

第2学年では、「私たちのまちづくり」の学習・活動に取り組みます。この取り組みは、市政に関する学習をもとに、日頃感じている地域の課題を見つけ、問題意識を同じくするグループに分かれ、調査研究・討議を重ね、実践につなげていくものです。第3・4学年は下記の4つの専攻コースに分かれ、



理論を学び、実習をとおして地域での具体的実践活動ができるようになることを目指し、話し合い・発表・体験・学び合い学習など様々な学習形態を取り入れています。



●**あったか福祉コース** 福祉や介護について学び、現場での実習を交えながら、いたわる心や思いやりの心を養うとともに、家族、隣人、地域へとふれあいを広げていきます。

●**ふるさと歴史コース** 郷土佐倉の先覚者や、歴史的町並みについて学ぶことで、郷土愛を育み、地域への活動を広げていきます。

●**さわやか情報コース** 高度情報化社会の現状や情報伝達技術を学び、地域へ向けた情報発信について考えていきます。

●**ゆっくり元気コース** 自分の健康管理を自分で行うために必要な知識の習得を講義・実習を通して行います。

佐倉市民カレッジは平成27年度末までに1,946名の卒業生を輩出し、その大多数が学んだことを活かして何らかの形で地域活動を継続しています。

次号では、佐倉市民カレッジの活動から生まれた団体を含む中央公民館利用サークルの育成と地域活動についてご紹介いたします。



# まちよりむらより、 持ちより公民館だより

## 「親子でチャレンジ!」親子陶芸教室

いすみ市大原公民館 ☎0470-63-1222

大原公民館では、毎年夏休みに小学生とその家族を対象とした「布草履教室」と「親子陶芸教室」を行っておりますが、今回は「親子陶芸教室」をご紹介します。

この事業は、小学生の夏休みの思い出となるよう十数年前から実施しており、この公民館の事業の中でも人気のある事業の一つです。講師は、陶芸歴数十年の大ベテラン、陶芸クラブの皆様にご協力を頂き指導をしていただいております。

今回は、ろくろを使わず簡単な道具を使用し、たた作り、紐作り、塊作りと呼ばれる3種類の方法により、絵付けまでを行うこととなりました。説明の際、陶芸クラブの方の作品を見せていただきましたが、あまりの出来上がりの良さに受講生からはため息が出るほどでした。

しかし、実際に作業が始まると先ほど見た作品に刺激を受けたのか、熱心に指導を受けながら頑張る子供や、ビールジョッキ作りに真剣な表情のお父さん、花模様の皿を見ては写真を撮り微笑むお母さんも居る

他、「焼き上がりが楽しみ」「参加してよかった」などの声も聞かれ、皆さん良いひと時を過ごされたと思います。また、講師の皆さんからも「自分で作るのも良いが、子供に教えるのも楽しみだ」とお話もありました。

核家族化や少子高齢化が進んでおりますが、陶芸を一つのきっかけとし、今後も子供からお年寄りまで幅広い年代で楽しみながら意見交換の場が提供できるよう、事業の充実を図りたいと考えております。



## 「沖ノ島探検隊 ~地域の宝を見つけよう~ Part I」

館山市中央公民館 ☎0470-23-3111

平成28年6月26日に、梅雨の合間の晴天の下、沖ノ島探検隊(Part I)が開催されました。

これまで中央公民館と生涯学習課の2課で行われていた事業を統合し、2011年から開催した沖ノ島探検隊は、NPO法人「たてやま・海辺の鑑定団」の協力のもと、6月、8月にそれぞれ1回実施している事業です。三方を海に囲まれている館山市の中で、観光スポットとしても人気のある沖ノ島を「陸上」、「海上」、「海中」の



3点から観察することで、海や自然への理解、興味を深めると共に、地元館山への関心を深めてもらうことが狙いです。

6月に開催したPart Iでは、沖ノ島島内の探索と海上技術学校の学校実習船「望洋丸」の乗船体験を行いました。また、8月に開催したPart IIではシュノーケリングを行いながら、サンゴの北限域としても有名な館山の豊かな海を探検しました。

Part Iでは浜辺に打ち上げられたタカラガイの貝殻や、潮だまりのカニ、ハゼなどをはしゃぎながら収集したり、揺れる船を楽しみながら海の上からの沖ノ島を観察し、簡単な船の操作体験をしたりしました。子どもからは様々な海の生き物や綺麗な貝殻を見つけて楽しむ声や、船上から見える景色に感動する声がありました。

参加者が館山市と館山が持つ豊かな自然に興味を持ってもらえるように、館山市中央公民館はこれからも子供が自然を体験できる講座を開いていければと思います。



# まちよりむらより、 持ちより公民館だより

## 「地域に伝わる妖怪民話の絵本作り」

君津市上総公民館 ☎0439-27-3181

君津市清和公民館 ☎0439-37-2195

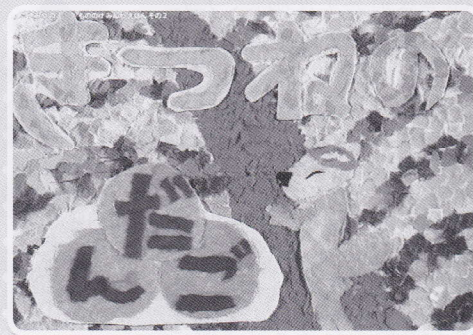
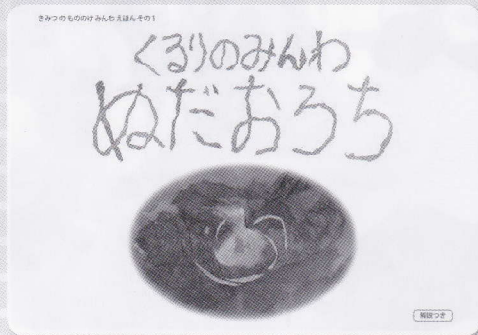
平成27年度、上総公民館と清和公民館ではそれぞれ絵本作りに取り組みました。これは、県内の妖怪やもののけに関する民話を後世に残すこと、次世代に語り継ぐことを目的に、千葉県博図公(博物館・図書館・公民館)連携事業実行委員会のもとで進められた事業です。

上総公民館では、主催事業「ものづくり教室」の中で学級生を募集。さらに、ちぎり絵サークルや地域

の親子、高校生たちにも声を掛け、作業に参加してもらいながら「くるりのみんわ ぬだおろち」の作成にあたりました。

一方、清和公民館では、秋元小学校6年生13名(27年度時点)が主体となって学校授業の中で作成。和紙を活かした質感から、小学生らしさを感じる「きつねのだんご」が仕上がりました。完成した絵本を見た子どもからは、「自分がお母さんになった時に

子どもに読んであげたい」との感想が上がり、民話を次世代に伝えることの大切さを実感できました。絵本は、千葉県内の図書館、君津市内の公民館に所蔵し閲覧も可能ですので、みなさまどうぞお手にとってご覧ください。



## 「自然豊かな加曽利公民館周辺をウォーキング」

千葉市加曽利公民館 ☎043-232-5182

加曽利公民館では、主催事業として「坂月川、都川を歩く」を実施しています。公民館の周辺は坂月川と都川があり、自然豊かな環境の川沿いを自然に親しみながら、およそ10Kmをウォーキングします。

ウォーキングコースには貝塚で有名な加曽利貝塚があります。加曽利貝塚博物館の展示室や野外施設の観覧料は無料なので、ウォーキングの参加者は貝塚の見学も楽しんでいます。また、ボランティアの方が解説をしながら貝塚を案内してくれます。参加者は古代の生活について改めて知ることもあり、解説を熱心に聞いています。現在、加曽利貝塚は特別史跡を目指しています。

加曽利貝塚の脇を坂月川が流れています。川沿いは自然に囲まれ、地域の散歩コースになっており、憩いの場です。ジョギングをしている方や犬の散歩している方も見うけられます。さらに下流に向かって歩きますが、参加者は歩きやすい靴で参加してウォーキングを楽しんでいます。

坂月川を下流に向かって歩くと都川となります。

川沿いのコースは、サギや鴨など水辺の野鳥に出会えます。昼食はウォーキングコースになっている千葉市緑化植物園でとります。そして加曽利公民館に戻ってきてウォーキングは終了となります。

写真は都川の自然豊かな風景です。半日をかけて自然に親しむウォーキングは今年度も主催事業として予定しています。







平成28年度 (平成28年5月1日～平成29年5月1日)

# 公民館総合補償制度

本制度は、公益社団法人全国公民館連合会(全公連)の制度です。市町村の公民館および自治公民館、また社会教育法に定める「公民館の目的」に寄与する施設等で全公連が加入を認めたものは、名称を問わずご加入いただけます。指定管理者制度を導入された施設もご加入いただけます。

## 3つの補償で公民館活動をサポート

### 1. 行事傷害補償

【災害補償保険(公民館災害補償特約、熱中症危険補償特約)+見舞金制度】

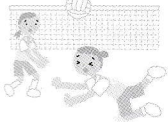
#### 保険

- 公民館行事参加者、公民館利用者のケガを補償
- 公民館行事参加者の往復途上のケガや、行事の事前練習、準備中、後片付けでのケガを補償
- 食中毒や熱中症を補償

#### 見舞金制度

- 急性疾病に、死亡弔慰金、入院見舞金をお支払い
- 特定災害により公民館建物やその収容動産に損害が発生した場合に見舞金をお支払い

【補償例】



● バレーボール大会参加者が転倒して負傷。

### 2. 賠償責任補償

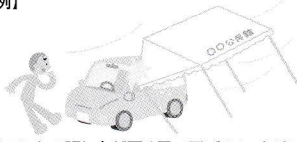
【賠償責任保険(施設所有管理者特約・昇降機特約)】

#### 保険

- 公民館の施設の欠陥や業務運営のミスにより、第三者にケガをさせたり、財物を損壊したことにより、公民館に法律上の賠償責任が生じた場合に補償

※公民館が所有、使用または管理する財物への賠償事故などは対象になりません。

【補償例】



● テントの張り方が悪く風で飛ばされ、行事来場者の車を破損。

### 3. 職員災害補償

【普通傷害保険(就業中のみの危険補償特約)+見舞金制度】

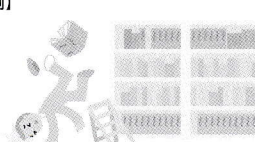
#### 保険

- 公民館業務に携わる方の公民館業務中のケガを補償

#### 見舞金制度

- 公民館業務に携わる方の病気や業務外のケガに対して、死亡弔慰金や入院見舞金をお支払い

【補償例】



● 職員が業務中に脚立から転落して負傷。

## 公民館総合補償制度の特徴

### (1) 補償範囲や対象者が広い、公民館専用の制度です。

- 全公連が運営する「見舞金制度」に「保険」を組み合わせた公民館や類似公民館の専用の制度で、安心して公民館活動を行っていただけるよう幅広い補償になっています。

#### ★行事傷害補償制度のここがおすすめ★

- 日本国内であれば行事の場所は問いません。 ※別に定める危険な運動中等は対象外です。
- 行事参加者や利用者の居住地は問いません。
- 公民館公認のサークル活動参加者や有償・無償を問わず公民館ボランティアや講師も補償します。
- 公民館が他の団体等の行事に派遣する行事の参加者も補償します。
- 宿泊をとまなう行事も対象です。

### (2) 年1回の手続きで安心です。

- 年1回の手続きで年間の主催、共催行事が対象になり、個別の行事の通知は不要ですので、うっかりして保険の手配を忘れる心配がありません。

### (3) 保険料の割引制度もあります。

- 同一市町村内で10館以上まとめて加入されると、行事傷害補償掛金に割引が適用できます。
- 職員災害補償には、団体割引25%、過去の損害率による割引20%を適用しています。

このご案内は、本制度の概要を説明したものです。詳しい内容につきましては「平成28年度版マニュアル 公民館総合補償制度の手引き」をご覧ください。また、本制度全般のお問い合わせ、資料請求等は、エコー総合補償サービスまたは損保ジャパン日本興亜までお寄せください。

■引受保険会社  
**損害保険ジャパン日本興亜株式会社**  
 営業開発部第三課  
 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1  
 TEL 03-3349-3820 FAX 03-6388-0157

■取扱代理店(お問い合わせ・資料請求先)  
**エコー総合補償サービス株式会社**  
 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-6-9  
**TEL : 0120-636-717**(通話料無料)  
**FAX : 0120-226-916**(通話料無料)



# ちばけん公民館 スタッフニュース



## わがまちじまん!! 七夕のまち茂原

太平洋に近く、温暖で自然いっぱいの茂原市。市内には見どころも多く、日本さくら名所100選にも選ばれた茂原公園の「桜まつり」や、「茂原七夕まつり」など、四季を通してさまざまなイベントや祭礼が目白押しです。

そのなかでも、「茂原七夕まつり」は、毎年7月下旬に市内商店街で開催される夏の風物詩で、関東屈指の七夕まつりとしてにぎわいます。期間中は、毎年80万人ものお客様をお迎えしています。

第62回を迎えた本年は、「LOVE～君と僕の夢物語～」をコンセプトに、7月29日(金)から31日(日)までの三日間開催されました。茂原駅周辺が鮮やかな約800本の竹飾りをはじめとする七夕飾りで埋め尽くされ、その中で、およそ1,000名の踊り手が参加して一糸乱れぬ見事な踊りを披露するもばら阿波おどりや、派手なパフォーマンスで楽しませてくれるYOSAKOI鳴子おどり、元気いっぱいの子供みこし、各種ステージイベントなど、市内外の多くの方に楽しんでいただきました。

ぜひ一度「茂原七夕まつり」に足を運んでみませんか。来年もまた魅力いっぱいの催しを企画して、皆様のお越しをお待ちしています。